

科目名	解剖学概論							年度	2024
英語科目名	Introduction to Human Anatomy							学期	前期
学科・学年	スポーツトレーナー科 1年次		必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※
担当教員	内田		教員の実務経験	有	実務経験の職種	アスレティックトレーナー			

【科目の目的】

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の資格取得に必要な共通科目です。アスレティックトレーナー、ジュニアスポーツ指導員、水泳指導員、テニス指導員、テニス教師の資格取得に必須。スポーツ指導者に必要な解剖学の勉強をします。

【科目の概要】

骨格、筋肉、心臓、血管、呼吸器、神経などの構造と機能について学びます。

【到達目標】

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者(アスレティックトレーナー、ジュニアスポーツ指導員、水泳指導員、テニス指導員、テニス教師など)に共通して必要となる基礎的な教養を身につけることを目標とします。スポーツ指導者としてトレーニング指導・コンディショニング指導の基盤となる知識でもある骨・関節・筋肉・神経・血管などの解剖学を理解し、しっかりと覚えましょう。

- A. 身体の構造と機能についての正しい知識を身につけ、身体形態の発育と発達に関するしっかりととした知識を身につけている
- B. 身体の働きについて、運動生理学的・バイオメカニクス的観点からその仕組みと働きについて、しっかりと理解している
- C. スポーツ指導に必要な健康管理について、スポーツ医科学的観点からしっかりと理解している
- D. アスリートに多い内科系疾患についての知識をしっかりと身につけている

【授業の注意点】

授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。

評価基準=ループリック

ループリック 評価	レベル3 優れている	レベル2 ふつう	レベル1 もう少し
到達目標 A	身体の構造と機能についての正しい知識を身につけ、身体形態の発育と発達に関するしっかりとした知識を身につけている	身体の構造と機能についての正しい知識を身につけ、身体形態の発育と発達に関するある程度の知識を身につけている	身体の構造と機能についての正しい知識を身につけ、身体形態の発育と発達に関する知識を身につけていない
到達目標 B	身体の働きについて、運動生理学的・バイオメカニクス的観点からその仕組みと働きについて、しっかりと理解している	身体の働きについて、運動生理学的・バイオメカニクス的観点からその仕組みと働きについて、ある程度理解している	身体の働きについて、運動生理学的・バイオメカニクス的観点からその仕組みと働きについて、理解していない
到達目標 C	スポーツ指導に必要な健康管理について、スポーツ医科学的観点からしっかりと理解している	スポーツ指導に必要な健康管理について、スポーツ医科学的観点からある程度理解している	スポーツ指導に必要な健康管理について、スポーツ医科学的観点から理解していない
到達目標 D	アスリートに多い内科系疾患についての知識をしっかりと身についている	アスリートに多い内科系疾患についての知識をある程度身についている	アスリートに多い内科系疾患についての知識を身についていない

【教科書】

配布プリント

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

筆記・課題・平常点

演習のいざれかを記入。

科目名		解剖学概論			年度	2024
英語表記		Introduction to Human Anatomy			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	
1	身体の仕組みと働き	身体の仕組みと働きを知る	1 運動器について	運動器の名称と仕組みについて理解する	1	
2					1	
3	スポーツ医学	身体各部位の発育と機能発達について知る	1 身体の構造	身体各部位の構造について理解する	1	
4			2 成長の発達	身体各部位の発育と機能発達について理解する		
5		呼吸系 循環器系 エネルギー供給系	1 呼吸系	呼吸器の構造を理解する 呼吸器の働きを理解する	1	
6			2 循環器系	循環器系の構造を理解する 循環器系の働きを理解する		
7			3 エネルギー供給系	エネルギー供給機構の仕組みを理解する エネルギー供給機構の働きについて理解する	1	
8			4 スポーツバイオメカニクス基礎	歩行のバイオメカニクスについて理解する	1	
9				走動作のバイオメカニクスについて理解する	1	
10				投動作のバイオメカニクスについて理解する	1	
11				跳躍動作のバイオメカニクスについて理解する	1	
12	スポーツ指導者に必要な医学的知識	健康管理について	1 アスリートの健康管理について	医学的観点からアスリートの健康管理について理解する	1	
13					1	
14					1	
15					1	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等